

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 19 期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第 1 号議案「第 19 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 20 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員を選任に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2023 年 5 月 15 日（月）13:30～

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター

（同時 Web 配信）



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司
理事 伊藤英明、大石晶彦、上谷勝洋、小林陽一、澤地孝男、
田井公浩、田上賢一、西山満、松下直幹
監事 高瀬知章、高橋直樹

会員数(2023年3月31日現在)

個人正会員 230名
賛助会員 36団体 (内 大学 6校)、特別会員 6名

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、
広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、
資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的Cx事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、Cxプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2023年3月31日現在)

財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、エネゲート、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱重工サーマルシステムズ、三菱地所設計、森村設計
(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館

【2】議事資料

第1号議案「第19期事業報告及び収支決算に関する事項」

2022年度事業報告（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

1. 事業の成果

人材育成事業については、CxPE（性能検証技術者）資格研修会を大阪で開催を企画したが、申し込み数が少なく規定に従い実施を見送ることとなった。現在、CxPE登録者の総計は103人である。CxTE（性能検証専門技術者）講習会はオンライン開催にて行い、13名が受講した。全員が全ての講義を受講してCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録は現在67名である。また、新たな取り組みとして、建築設備を模擬的に試験できる施設で体験型CxTE研修会を開催する企画と準備を進めた。なお、Cxを業務として実施する組織（CxF: Commissioning Firm）の登録は1社の新規登録があり、現在7社となった。

Cxの技術と事業展開についての情報を共有しCxの推進と普及を通じて社会に貢献することを目的にシンポジウムを開催した。東京では2022年12月7日に「ZEB Ready 達成を目指すための個別分散空調システムの設計法ガイドライン」についてシンポジウムを行い、WEB参加を含めて93名が聴講した。中部では2023年1月20日に「BSCA Cx 事例シンポジウム in 中部 —ZEBとコミッショニング」を開催し、WEB参加を含めて79名の参加があった。関西では2023年2月15日に「コミッショニングの推進を目指して— 2022年度BSCAシンポジウム in 関西」を開催し、86名の参加があり（会場参加49名、WEB参加37名）、盛況なパネルディスカッションとなった。

当協会の先導的Cxでも活用されてきた空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx（Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning）をオープンソースとして公開するワークショップをWEB開催（計7回）した。受講者は45名であった。

総会は、2年ぶりに実会合形式で行った。付帯行事の講演会では、関東学院大学・大塚雅之教授、および東京電力ホールディングス株式会社 矢田部隆志氏を招き講演していただいた。総会後の技術交流会も2年ぶりに開催し、会員間で交流を深める場となった。

性能検証普及事業については、民間の建築オーナー団体に対してCxプロセスが有効であることを薦める「コミッショニング紹介資料（オーナー向け）」をリバイスし、2022年9月に大阪ビルディング協会の技術委員会において説明会を実施した。また、2022年12月2日に中国電力「ヒートポンプ研究会：第81回サロン」において「建築設備コミッショニングに関する講演会」を開催し62名の参加（会場参加45名、WEB参加17名）があった。コミッショニングレターの発刊など、例年通りの広報活動も実施した。

調査研究及び技術支援事業については、昨年同様、IBECs「住宅・建築分野の省エネ・省CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会」に当協会から参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行った。また、国際交流では、2023年6月に開催予定（中国・深圳）の第2回APBCx（Asia Pacific Building Commissioning Symposium、隔年開催）の準備のために、中国、香港の関係団体の代表者とリモートで2回の会合を持つなどの活動を行った。かねてから空気調和・衛生工学会に本協会理事が請願していた「コミッショニングに関する学会賞」の創設が決定し、次年度から運用される運びとなった。なお、賞の運営資金は中原名誉会長の寄付による。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に当協会が発刊した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂を新体制の委員会を結成して行うと共に、中堅・若手に向けてコミッショニングマニュアル編纂作業の継承を図った。

共催・協賛事業については、一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター(Annex81 日本委員会)主催シンポジウムを共催し、空気調和・衛生工学会 Cx 委員会主催シンポジウム「2030 年 GHG 46%削減へのコミッショニングの貢献」などに協賛した。地中熱利用促進協会主催の全国地中熱フォーラムの後援を前年度から継続し Cx の発展に寄与した。

事務局 WG では、引き続き事務局体制の整備を行なった。

2. 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2022/12/9 ~ 2022/12/10	中止	2名	—
	b)	CxTE 講習	2022/8/26	オンライン開催	5名	13名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2022/4 ~ 2023/3	中止	1名	—
	d)	Cx 事例シンポジウム	2022/12/7	東京 + オンライン開催	8名	93名
			2023/1/20	中部 + オンライン開催	7名	79名
			2023/2/15	関西 + オンライン開催	8名	86名
	e)	ACSES/Cx 公開ワークショップ	2022/5 ~ 2022/11	オンライン開催	4名	45名
	f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2022/4 ~ 2023/3	BSCA 事務所	3名	1名
g)	総会付帯講演会	2022/5/26	WEB+東京	—	87名	
h)	技術交流会	2022/5/26	東京	—	22名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2022/9	中止	—	—	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2022/4 ~ 2023/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2022/4 ~ 2022/5	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2022/4 ~ 2023/3	事務局	7名	約1000名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2022/9/14 ~ 2022/9/16	神戸大学	3名	約100名
e)	企画・運営委員会活動	2022/4 ~ 2023/3	BSCA 事務所他	31名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2022/4 ~ 2023/3	BSCA 事務所他	6名	同上
	b)	技術委員会活動	2022/4 ~ 2023/3	東京	1名	建築関係者
	c)	他団体との協働活動参画	2022/4 ~ 2023/3	東京	4名	40名

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2022/4 ～2023/3	Web 会議他		22 名
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他		6 名
	c)	田園都市線桜新町駅コミッショニング（基本設計フェーズ）	2022/1 ～2025/5	東京・Web 会議他		6 名
d)	事業委員会活動	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	12 名		
(5) 共催・協賛事業		2022/4 ～2023/3			会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。						

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE 資格研修会は、受講申し込み者数が5名に達しなかったため、当初規定に従い実施を見送ることとなった。

近年、一級建築士等の資格受験要件の緩和がみられることから、CxPEについても受講資格の緩和を検討し、受講資格のうち学歴要件を撤廃することとした。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

2022年8月26日に、第11回目となるCxTE講習会を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度も引き続きオンライン開催とした。

講習会には13名の受講者が参加して、全員が全ての講義を受講され13名にCxTE講習の修了証を授与した。また、2022年度に新たにCxTE登録された会員は8名（今年度受講者6名と前年度受講者2名）であり、累計で67名となった。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

第11回目となるCxTE（性能検証専門技術者）講習会を8月26日にオンラインで開催して、受講者13名が全ての講義を受講して、受講者全員に修了証を発行した。

2) 資格判定委員会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会の実施を見送ったため、資格判定委員会は行わなかった。

d) Cx事例シンポジウム

東京では、2022年12月7日に「コミッショニングの推進を目指して— 2022年度 BSCA Cx事例シンポジウム in 東京」と題して、中規模のオフィスビルで採用が多い個別分散空調システムの調査研究として、佐藤エネルギーリサーチ株式会社が実施した「ZEB Ready 達成を目指すための個別分散空調システムの設計法ガイドライン」について講演を行った。会場参加とWEB併用のオンライン開催として、93名（内WEB64名）の参加があった。

中部では、2023年1月20日に「BSCA Cx事例シンポジウム in 中部 - ZEBとコミッショニング -」と題して、従来のCxに加えてカーボンニュートラル実現に向けてのCxの重要性について考えた上で、中部を中心とした具体的なCx事例を紹介し、今後の建築設備Cxの普及を目指すシンポジウムを行った。会場参加とWEB併用のオンライン開催として、79名（内WEB49名）の参加があった。

関西では、2023年2月15日に「コミッショニングの推進を目指して— 2022年度 BSCA シンポジウム in 関西」と題して、CxPEが携わったCxプロジェクトの発注者（建物オーナー）、CMT、設計者からCxの意義・効果・成果などを報告した。会場参加とWEB併用のオンライン開催として、86名（内WEB37名）の参加があった。

e) ACSES/Cx 公開ワークショップ

Cx に活用するという視点で開発してきた空調システムエネルギーシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning) をオープンソースとして公開するワークショップを開催した。

ワークショップは計 7 回開催 (5 月 17 日、6 月 8 日、7 月 7 日、8 月 22 日、9 月 20 日、10 月 19 日、11 月 15 日。時間はいずれも 15:00~17:30 の 2 時間半) し、9 月 15 日と 28 日には個別対応によるフォローアップを行った。

ワークショップの講師は、吉田理事長が務めた。ワークショップでは、シミュレーションツールの全体像と実行方法、BEMS データの処理方法や読み込み方法、機器モデルパラメータの決定方法、サブシステムモデルの構築方法、シミュレーション結果の出力方法と確認方法といった ACSES/Cx の使い方に関する説明に留まらず、空調機器 (冷凍機やヒートポンプ、冷却塔、コイル、蓄熱槽、ポンプ、ファン等) のモデル式や自動制御システム (熱源台数制御、ポンプの変流量制御、ファンの変風量制御等) の動作ロジック等、ACSES/Cx をより深く理解し実務で活用するために必要となる理論の解説も行い、計 3 回の演習問題を通して理解を深めた。

ワークショップには計 45 名の受講者が参加し、受講者には ACSES/Cx を動かすために必要となる MATLAB/Simulink のライセンス (ワークショップ期間中のみ有効) を配付した。

f) Cx マニュアル (CD) の頒布

2020 年 10 月発行「建築設備コミッションングマニュアル」改訂第 4 版の販売を継続した。

g) 総会付帯行事としての講演会

2022 年 5 月 26 日の総会に引き続き、2 年ぶりとなるリアル会合での特別講演会を実施した。

関東学院大学・大塚雅之教授「これからの建築給排水衛生設備の展望と課題～ゼロ・ウォータービル (ZWB) とコンバージョンへの対応～」と、東京電力ホールディングス株式会社 矢田部隆志氏「カーボンニュートラル政策において期待されるオペレーションと電化～エネルギーマネジメントと産業電化・CO₂フリー水素～」の 2 題の講演を行った。

h) 技術交流会

2022 年 5 月 26 日の総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した。来賓の方々からの挨拶の他、2021 年度の新 CxPE の代表者から抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

i) Cx に関心を持つ者の集い

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて、開催を中止した。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) CxPE のフォーラム活動

2022 年度の CxPE 座談会の開催は見送りとした。討議テーマを再考して、2023 年度に開催することとした。

b) ホームページの整備充実

一般閲覧者の増大を目指して、先導的な C x 事例の追加掲載並びにホームページ構成のリニューアルを行った。リニューアルに伴い一般閲覧者と会員との情報提供範囲を明確にし、会員メリットが判りやすい仕組みの構築に取り組んだ。

c) コミッシュォニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッシュォニングレターの月 1 回発行を継続した。2021 年に開催した CxPE 座談会（東京、大阪）の討議概要を、複数回に分けて、掲載した。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会が 9 月 14 日~16 日に神戸大学で開催され、技術展示会場に協会展示ブースを出展し、広報活動を行った。

e) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討した。

2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

CxTE 講習会を例年通り開催して、登録者の促進を図った。また、Cx 事例シンポジウムの発表などにおいて、CxF 登録制度を紹介して登録を働きかけ、賛助会員の増加を図った。

3) 各種団体への Cx の普及活動

オーナーサイドへの Cx 普及活動の一環として、2021 年度に作成した「コミッシュォニング紹介資料（オーナー向け）」をリバイスし、2022 年 9 月 5 日、大阪ビルディング協会の技術委員会において、Cx に関する説明会を実施した。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

2023年6月に開催予定(中国・深圳)の第2回 APBCx (Asia Pacific Building Commissioning Symposium、隔年開催)の準備のために、中国、香港の関係団体の代表者とリモートで2回の会合(2023年2月)を持った。このシンポジウムの目的は、アジア・太平洋地域の国・地域が取り組んでいるCxの事例、研究、事業、規制などの情報を共有し、それぞれの商習慣に適したCxの仕組みの構築や普及につなげ、建築物の省エネルギーやカーボンニュートラルの実現に寄与することである。第1回(2021年5月開催)はBSCAが主催したが、第2回は中国の関係学協会が主催となる。

また、国際エネルギー機関IEAの研究活動である、IEA/EBC/Annex81:「Data-Driven Smart Building(データ駆動型スマートビルディング)」の日本委員会(委員長:赤司泰義(東京大学)、当協会副理事長)に、当協会から幹事委員を派遣し、研究支援を行った。

b) 技術委員会

空気調和・衛生工学会のコミッションング委員会との連携について検討した。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所(建研)、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター(IBECS)が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO₂・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会(略称:初期調整委員会)」に、引き続き当協会から委員長として吉田理事長、委員として4名(柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事、山田博氏)が参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行った。今年度は、VWVシステムに続き、変风量空調システム(VAVシステム)の設計及び初期調整・試験方法について技術的な検討を行った。

また、2022年12月2日に中国電力「ヒートポンプ研究会:第81回サロン」において、「建築設備コミッションングに関する講演会」にて吉田理事長が講演を行った。45名が会場、17名がWEBで参加し、講演後の質疑応答では闊達な議論が交わされた。

(4) 基準制定・検証事業

a) 建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて、改訂第4版の編集作業を行った。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の施行フェーズを開始した。「設計判断記録文書」、「特記仕様書（Cx）」について施工者も交えた関係者で確認を行い、機器納入仕様の確認や自動制御についての検討、吹き出しロモックアップ試験等を行った。

c) 田園都市線桜新町駅コミッショニング（基本設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年1月～2022年5月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線桜新町駅リニューアル工事において、東急電鉄と設計者が作成した基本設計内容の確認や、工事実施のため OPR を作成するうえで助言を前年度に引き続き行った。

d) 事業委員会

新たな Cx 関連業務の開発に向けた議論を行った。

(5) 共催・協賛事業

a) 共催、協賛

- ・共催事業：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター(Annex81 日本委員会)主催シンポジウム
「カーボンニュートラル時代における建築設備システムの DX

－Annex81 中間報告と日本の事例・課題－ 2022年12月13日

IEA/EBC/Annex81 では、「データ駆動型スマートビルディング」に関する国際的な研究を推進しており、当シンポジウムでは事例の紹介とともに、パネルディスカッションで建築設備システムの DX に関するビジネスへの期待や課題について議論がなされた。

- ・協賛事業：公益社団法人空気調和・衛生工学会 Cx 委員会主催シンポジウム

「2030年GHG 46%削減へのコミッショニングの貢献」 2022年8月25日

当シンポジウムでは、①Cx の価値訴求による Cx の普及を目指した詳細便益の調査、②ZEB で必須となる外壁気密性能の検証方法の検討、③Cx の高度化を目指した設計や運用の各 Cx フェーズにおける空調シミュレーション結果の妥当性評価方法の検討、④効率的な Cx 実施を目指した実測データ前処理ツール（海外製を含む）の調査・評価等の小委員会の成果報告が行われた。また、建築研究所の澤地孝男理事長をお招きして、2030年温室効果ガス 46%削減に向けた課題について講演頂き、Cx の現在点と中期的な通過点を繋ぐ有意義なシンポジウムとなった。

- ・協賛事業：公益社団法人空気調和・衛生工学会近畿支部主催

「建築分野におけるカーボンニュートラル脱炭素社会の実現を目指して」 2022年11月11日

b) 後援

- ・後援事業：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター主催セミナー（オンライン）

「省エネルギー建築のための設計ガイドライン」 2022年8月31日

ガイドラインに基づく非住宅建築物の省エネルギー設計の概要の解説ならびに設計及び検証方法について解説をオンラインセミナーとして行った。

- ・後援事業：一般社団法人日本建築学会主催シンポジウム

「第18回 建築設備シンポジウム「脱炭素社会への環境建築 PART2」」 2022年11月18日

- ・後援事業：特定非営利活動法人地中熱利用促進協会主催フォーラム

「第3回全国地中熱フォーラム～地中熱で育む脱炭素と SDGs～」 2023年2月2日

(6) 理事会

理事会を4回開催し、総会付議事項、定款変更の検討、理事の互選による理事長、副理事長の選出、建物オーナーへの Cx 推進の展開方法、豊洲市場ベンゼン問題への BSCA 支援可否について審議し、方針を決定した。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2022年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2022年4月1日から2023年3月31日まで

（単位：円）

科目	2022年度	2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	125,000	65,000	60,000	
正会員受取会費	2,215,000	2,200,000	15,000	
賛助会員受取会費	5,100,000	5,400,000	-300,000	
小計	7,440,000	7,665,000	-225,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
小計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
小計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	0	560,000	-560,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	190,000	650,000	-460,000	
CxTE研修会(大阪)	0	350,000	-350,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	186,000	0	186,000	
Cx事例シンポジウム(大阪)	491,000	550,000	-59,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	436,000	380,000	56,000	
マニュアルの頒布	8,800	200,000	-191,200	
技術交流会	65,000	150,000	-85,000	
Cx 集い	0	200,000	-200,000	
Cx講演会(広島)	147,008	0	147,008	
小計	1,523,808	3,040,000	-1,516,192	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	65,000	-65,000	
小計	0	65,000	-65,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx				
東急電鉄Cx 駒沢大学	8,000,000	8,000,000	0	
東急電鉄Cx 桜新町	998,800	990,000	8,800	
施工P	0	0	0	
小計	8,998,800	8,990,000	8,800	
5. その他				
小計	0	0	0	
小計	10,522,608	12,095,000	-1,572,392	
5 その他収益				
受取利息	399	1,000	-601	
雑収益	121,158	10,000	111,158	消費税精算
小計	121,557	11,000	110,557	
経常収益計	18,084,165	19,771,000	-1,686,835	

科目	2022年度		2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額		
II 経常費用					
1 事業費					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	1,120	537,000	-535,880	合格証発送	
CxPE座談会	0	240,000			
CxTE研修会(東京ZOOM)	132,130	680,000	-547,870		
CxTE研修会(西日本)	0	310,000	-310,000		
Cx事例シンポジウム(東京)	278,050	0	278,050		
Cx事例シンポジウム(関西)	529,340	520,000	9,340		
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	2,493	0	2,493	ドメイン維持費	
Cx事例シンポジウム(中部)	289,740	310,000	-20,260		
ACSES/Cx公開ワークショップ	720,660	780,000	-59,340		
日中Cx共同研究	0	0	0		
マニュアルの頒布	125,180	100,000	25,180		
総会付帯講演会	96,336	60,000	36,336		
技術交流会	198,000	230,000	-32,000		
Cx 集い	0	200,000	-200,000		
資格判定委員会	0	390,000	-390,000		
Cx講演会(広島)	133,974	0	133,974		
小計	2,507,023	4,357,000	-1,849,977		
2. 普及事業					
ホームページ	0	1,000,000	-1,000,000		
コミッションングレターの発行	90,495	300,000	-209,505		
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	121,838	180,000	-58,162		
CxF登録制度小委員会	0	50,000	-50,000		
企画・運営委員会及び広報担当	248,010	180,000	68,010		
小計	460,343	1,710,000	-1,249,657		
3. 研究・支援事業					
海外調査	0	200,000	-200,000		
技術委員会	1,886,550	1,650,000	236,550		
小計	1,886,550	1,850,000	36,550		
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx事業					
東急電鉄Cx 駒沢大学	2,896,599	7,888,000	-4,991,401		
東急電鉄Cx 桜新町	878,490	840,000	38,490		
事業委員会	379,136	50,000	329,136		
マニュアル校正	288,310	800,000	-511,690		
小計	4,442,535	9,578,000	-5,135,465		
5. その他	0	0	0		
事業費計	9,296,451	17,495,000	-8,198,549		

科目	2022年度		2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額		
2 管理費					
旅費交通費	73,690	150,000	-76,310		
通信運搬費	688,473	360,000	328,473		
消耗品費	11,856	100,000	-88,144		
什器備品	329,970	100,000	229,970		
会議費	224,880	250,000	-25,120		
印刷製本費	86,681	100,000	-13,319		
租税公課	1,434	400,000	-398,566		
支払手数料	72,710	60,000	12,710		
雑給	0	0	0		
諸会費	84,875	100,000	-15,125		
家賃	402,600	402,600	0		
修繕費	0	0	0		
予備費	0	0	0		
支払報酬	396,000	420,000	-24,000		
事務外注費	4,049,988	4,147,000	-97,012		
事務管理費	80,000	300,000	-220,000		
減価償却費	515,533	380,000	135,533		
管理費計	7,018,690	7,269,600	-250,910		
經常費用計	16,315,141	24,764,600	-8,449,459		
I, II 当期經常増減額	1,769,024	-4,993,600	6,762,624		
III 經常外収益					
1 固定資産売却益	0	0	0		
經常外収益計	0	0	0		
IV 經常外費用					
1 過年度損益修正損	0	0	0		
經常外費用計	0	0	0		
III, IV 当期經常外増減額	0	0	0		
税引前当期正味財産増減額	1,769,024	-4,993,600			
法人税、住民税及び事業税	70,000	71,000			
当期正味財産増減額	1,699,024	-5,064,600			
前期繰越正味財産額	50,561,108	50,561,108			
次期繰越正味財産額	52,260,132	45,496,508			

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

2022年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	50,772,329		
売掛金／未収金	0		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	511,290		
未収入金	10,000		
流動資産合計		51,293,619	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	200,880		
減価償却累計額	-200,880		
有形固定資産計		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	1,018,051		
無形固定資産計		1,018,051	
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計		180,000	
固定資産合計		1,198,051	
資産合計			52,491,670
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	17,150		
前受会費	5,000		
預り金	209,388		
仮受金	0		
流動負債合計		231,538	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			231,538
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		50,561,108	
税引後当期正味財産増減額		1,699,024	
正味財産合計			52,260,132
負債及び正味財産合計			52,491,670

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

2022年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2023年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		備考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	1,683		
三菱UFJ銀行普通預金	16,470,443		
ゆうちょ銀行普通預金	1,382,276		
三井住友銀行	3,183,248		
池田泉州銀行	29,734,679		
現預金計	50,772,329		
未収金			
売掛金/未収金	10,000		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
未収金計	10,000		
前払費用	511,290		
前払費用計	511,290		
仮払金	0		
仮払金計	0		
流動資産合計		51,293,619	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	1,018,051		
無形固定資産計	1,018,051		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		1,198,051	
資産合計			52,491,670
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,150		
前受会費	5,000		
預り金			
源泉所得税預り金	209,388		
仮受金	0		
流動負債合計		231,538	
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			231,538
正味財産			52,260,132

5. 監査報告

2022年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2023年4月20日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

第2号議案「第20期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2023年度事業計画案(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2023年度は下記の活動を計画し、会員と賛助会員組織に対してCxに関する技術やCx事業を推進するための情報提供をし、Cxを広めることにより社会に貢献する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会の開催を検討する。CxTE(性能検証専門技術者)講習会はWEBにて開催する。また、新たな取り組みとして建築設備を模擬的に試験できる施設を活用した体験型CxTE研修会を東京で実施する。設立20周年記念となる事例シンポジウムを関西、中部、東京で開催する。ここで紹介するCx事例に関しては、可能な限り収集データや実測データに基づいた図表によりCx効果を見える化し、参加者にわかりやすいものとする。Cxでの活用を目指して開発してきた空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)の利用方法に関するパーソナルトレーニング講習を実施する。総会については実会合・オンライン併用のハイブリッド形式で行い、附帯事業の講演会および技術交流会を開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページにおけるCx技術資料等の会員向けコンテンツの充実を図る。昨年同様に、CxPEとしての活動の活性化を目指して、CxPE相互の意見交換座談会を東京・大阪2ヶ所で開催する。省エネルギー・省CO₂にはCxプロセスが有効であることを公共建築部門や民間の建築オーナー団体に理解して貰うため、2022年度の活動でリバイスした「コミッションング紹介資料(オーナー向け)」を当会のホームページに掲載すると共に、オーナーへ直接配布・解説する活動を行う。コミッションングレターの発刊は例年通り実施する。本年は、空気調和・衛生工学会大会でのコミッションングの集いや学会ブース出展などをコロナ禍以前のように実施する。

調査研究及び技術支援事業については、Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。第2回Asia Pacific Building Commissioning Symposium(APBCx)が2023年6月10日に中国・深圳で開催される予定である。今回のAPBCxはChina Professional Committee of Building Commissioning and Operations(中国)が主催者となり、BSCAは香港の関係団体と共にこれを共催する。APBCxの充実に向け、中国、香港の関係団体との連携を強化する。技術委員会活動としては、空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し学会と連携して公開する。

基準の制定及び検証事業については、Cx業務の実例や経験を参考にして2016年度に発行した「建築設備コミッションングマニュアル」の改訂作業を仕上げ、年度内に改訂版を発刊する。当協会に特命で依頼された先導的Cx業務や調査研究業務を受託し、その活動成果やノウハウをCxに関わる人材育成や実務資料案件の集積に活かすと共にシンポジウムなどを通じて公表し、Cxの普及貢献に努める。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり策定し、それを企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

2. 事業実施計画に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2023/12	東京開催	10名	8名
	b)	CxTE 講習	2023/8	オンライン開催	5名	15名
		CxTE 実務講習	2023/12	建物施設	5名	5名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	設立20周年記念シンポジウム	2023/12	関西 +オンライン開催	10名	90名
			2024/1	中部 +オンライン開催	10名	90名
			2024/2	東京 +オンライン開催	10名	90名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	2023/5 ～2023/11	オンライン開催	3名	10名
	f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2023/5	総会会場	10名	40名	
h)	技術交流会	2023/5	開催	10名	20名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2023/9	福井大学	4名	40名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2023/4 ～2024/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2023/4 ～2024/3	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッシュンングレターの発行	2023/4 ～2024/3	事務局	7名	約200名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2023/9	福井大学	3名	約100名
e)	企画・運営委員会活動	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他	31名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2023/4 ～2024/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働活動参画	2023/4 ～2024/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業			22名 6名 12名	会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2023/4 ～2024/3			Web 会議他
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3			東京・Web 会議他
c)	事業委員会活動	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他			
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。	2023/4 ～2024/3					

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は、2023年度については東京での開催を検討する。2022年度に検討し緩和した受講資格により資格研修会受講者の募集を行う。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、コロナ禍の状況如何にとらわれず、受講者を全国から募ることも考慮して2022年度に引き続きオンラインによる講習を開催する。また実際の建物の設備システムによる機能性能試験の実務演習の開催を予定する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）の資格判定委員会を実施する。

d) 設立20周年記念シンポジウム

- ・ 関西では、CxPE資格者がビジネスとして行ったCxプロジェクト事例を紹介するシンポジウムを開催する。開催時期は2023年12月頃を予定する。
- ・ 中部では、Cxの普及促進に向け、Cxプロジェクトの開始段階で作成するCx企画書・提案書、OPR及びCx計画書の記載内容について実例を示すとともに、Cxで得られる効果について解説し、参加者とともに意見交換を行うシンポジウムを開催する。参加者は、発注者側ではオーナーサイド他、地元自治体関係者の他、実際にCxプロセスに参加する設計者、施工者、メンテナンス会社、その他地元企業にも積極的に参加を呼び掛ける。開催時期は2024年1月頃を予定する。
- ・ 東京では、Cxの普及展開を目指して、実際のPJ案件を中心に事例紹介を計画する。開催時期は2024年2月～2024年3月頃を予定する。

e) ACSES/Cx パーソナルトレーニング

Cxに活用するという視点で開発し、オープンソースとして一般公開をした空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx（Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning）の利用方法に関するパーソナルトレーニング講習を実施する。

f) Cx マニュアル（CD）の頒布

2020年10月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第4版の販売を継続する。さらに、改訂版第5版の発刊と販売の早期実現を目指す。

g) 総会付帯行事としての講演会（2023年5月）

総会後に、リアルとWEBでの特別講演会を実施する。講演は、環境省 大臣官房 環境経済課 鎮西 武氏「環境配慮契約法のめざすもの（仮）」、県立広島大学・小林謙介 准教授「カーボンニュートラルにむけたLCCAの最新動向（仮）」を企画する。

h) 技術交流会

技術交流会を企画する。

i) Cxに関心を持つ者の集い

9月に開催される空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッションングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする。

(2) 性能検証普及事業

a) CxPEのフォーラム活動

CxPEとしての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換しCxPEとしての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京・大阪で開催する。座談会の結果はコミッションングレターで発信する。

b) ホームページの整備拡充

2022年度にホームページの構成変更、古い資料の整理などのリニューアルを実施した。今年度は、Cx技術資料等の会員向けコンテンツの充実を行う。

c) コミッションングレターの発行

Cx関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッションングレターの月1回の発行を継続する。特別企画としてCxPE座談会（東京、大阪）の討議概要をコミッションングレターに掲載する。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し、広報活動を行う。今年度は展示方法を従来のパネル展示より、ディスプレイを用いた動画展示への変更を検討する。

e) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

会員に限定した情報提供（Cx文書事例、Cxツールなど）を検討する。

2) CxTEおよびCxFへの登録の促進

Cx事業の事例発表シンポジウムなどでCxTEおよびCxFの登録制度を広く紹介して登録を働きかけ、会員および賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体へのCxの普及活動

- ・ Cxのさらなる認知度の向上を目指し、2022年度の活動でリバイスした「コミッションング紹介資料（オーナー向け）」を当会のホームページに掲載し、オーナーへ直接配布・解説する活動を行う。
- ・ CxF（コミッションング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体にCx業務を実施するCxFの重要性を理解して貰う活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、カーボンニュートラル事業にCxプロセスが有効であることを説明し、カーボンニュートラル事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。

Cxに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）など）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。また、海外のCx組織（例えば、米国コミッショニング協会（BCA）など）との連携活動を検討する。特に、Asia Pacific Building Commissioning Symposium（APBCx）はBSCAが主催・共催する隔年の国際会議であり、2023年6月10日に第2回の国際会議を中国・深圳で開催予定である。APBCxの充実化に向けて、共同実施の中国、香港の関係団体（China Professional Committee of Building Commissioning and Operations（中国）など）との連携を強化する。

国際エネルギー機関IEAの研究活動であるIEA/EBC/Annex81:Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）の日本委員会（委員長：赤司泰義（東京大学）、当協会副理事長）には引き続き当協会から幹事委員を派遣し、研究支援を図っていく。

b) 技術委員会活動

空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要となる技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所（建研）、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会（略称：初期調整委員会）」に、引き続き当協会から委員長として吉田理事長、委員として4名（柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事、山田博氏）が参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行う。今年度は、昨年度から本格的に進めている変風量空調システム（VAVシステム）の設計、調整・試験方法に関する技術解説書の完成を目指す。さらに、これに引き続いてCO2濃度制御についても新たに検討を開始する予定である。

(4) 基準の制定・検証事業

a) 建築設備コミッシュヨニングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッシュヨニングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、2021年の新任の編集委員に引き続き参画を求めて、改訂第4版の編集のまとめを行う。

また、実際のコミッシュヨニングで作成された各種文書を抽出し、マニュアルの付属文書として編纂する。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッシュヨニング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の施工フェーズを継続して行う。自動制御方法や機能性能試験実施について施工者も交えた関係者で確認を行い、竣工後の機能性能試験実施についての検討を行う。

c) 事業委員会活動

新たなCx関連業務の開発に努力する。

(5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。

4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2023年度予算

建築設備コミッションング協会

（単位：円）

科目	2023年度予算		2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業	特定非営利活動事業	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益					
1 受取会費					
入会金収入	65,000	65,000		0	
正会員受取会費	2,250,000	2,200,000		50,000	
賛助会員受取会費	5,100,000	5,400,000		-300,000	
小計	7,415,000	7,665,000		-250,000	
2 受取寄附金					
受取寄附金	0	0		0	
小計	0	0		0	
3 受取助成金等					
受取民間助成金	0	0		0	
小計	0	0		0	
4 事業収益					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	560,000	560,000		0	
CxTE研修会(WEB)	310,000	650,000		-340,000	
CxTE研修会(大阪)	0	350,000		-350,000	
CxTE研修会(実務)	500,000			500,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	550,000	550,000		0	
Cx事例シンポジウム(東京)	610,000	0		610,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0		0	
Cx事例シンポジウム(中部)	560,000	380,000		180,000	
ACSES/Cxワークショップ	200,000	0		200,000	
マニュアルの頒布	200,000	200,000		0	
技術交流会	150,000	150,000		0	
Cx 集い	200,000	200,000		0	
小計	3,840,000	3,040,000		800,000	
2. 普及事業	0	0		0	
3. 研究・支援事業	0	0		0	
技術委員会	65,000	65,000		0	
小計	65,000	65,000		0	
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx 駒沢大学	10,000,000	8,000,000		2,000,000	
東急電鉄Cx 桜新町	0	990,000		-990,000	
小計	10,000,000	8,990,000		1,010,000	
5. その他					
小計	0	0		0	
計	13,905,000	12,095,000		1,810,000	
5 その他収益					
受取利息	1,000	1,000		0	
雑収益	10,000	10,000		0	
小計	11,000	11,000		0	
経常収益計	21,331,000	19,771,000		1,560,000	

科目	2023年度予算		2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業		特定非営利活動事業	増減額	
II 経常費用					
1 事業費					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	1,060,000		537,000	523,000	
CxPE座談会	216,000		240,000	-24,000	
CxTE研修会(東京ZOOM)	160,000		680,000	-520,000	
CxTE研修会(西日本)	0		310,000	-310,000	
CxTE研修会(実務)	355,000			355,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	520,000		520,000	0	
Cx事例シンポジウム(東京)	300,000			300,000	
アジア太平洋Cxシンポ	2,500		0	2,500	
Cx事例シンポジウム(中部)	420,000		310,000	110,000	
ACSES/Cxワークショップ	200,000		780,000	-580,000	
マニュアルの頒布	100,000		100,000	0	
総会付帯講演会	60,000		60,000	0	
技術交流会	230,000		230,000	0	
Cx 集い	200,000		200,000	0	
資格判定委員会	210,000		390,000	-180,000	
小計	4,033,500		4,357,000	-323,500	
2. 普及事業					
ホームページ	770,000		1,000,000	-230,000	
コミショニングレターの発行	300,000		300,000	0	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000		180,000	0	
CxF登録制度小委員会	50,000		50,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	180,000		180,000	0	
小計	1,480,000		1,710,000	-230,000	
3. 研究・支援事業					
海外調査	200,000		200,000	0	
技術委員会	2,050,000		1,650,000	400,000	
小計	2,250,000		1,850,000	400,000	
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx 駒沢大学	8,150,000		7,888,000	262,000	
東急電鉄Cx 桜新町	0		840,000	-840,000	
事業委員会	50,000		50,000	0	
マニュアル校正	1,050,000		800,000	250,000	
小計	9,250,000		9,578,000	-328,000	
5. その他	0		0	0	
事業費計	17,013,500		17,495,000	-481,500	

科目	2023年度予算		2022年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業		特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費					
旅費交通費	150,000		150,000	0	
通信運搬費	700,000		360,000	340,000	
消耗品費	100,000		100,000	0	
什器備品	100,000		100,000	0	
会議費	250,000		250,000	0	
印刷製本費	100,000		100,000	0	
租税公課	400,000		400,000	0	
支払手数料	80,000		60,000	20,000	
雑給	0		0	0	
諸会費	100,000		100,000	0	
家賃	402,600		402,600	0	
修繕費	0		0	0	
予備費	0		0	0	
支払報酬	420,000		420,000	0	
事務外注費	4,147,000		4,147,000	0	
事務管理費	300,000		300,000	0	
減価償却費	380,000		380,000	0	
管理費計	7,629,600		7,269,600	360,000	
経常費用計	24,643,100		24,764,600	-121,500	
I, II 当期経常増減額	-3,312,100		-4,993,600	1,681,500	
III 経常外収益					
1 固定資産売却益	0		0	0	
経常外収益計	0		0	0	
IV 経常外費用					
経常外費用計	0		0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0		0	0	
税引前当期正味財産増減額	-3,312,100				
法人税、住民税及び事業税	71,000				
当期正味財産増減額	-3,383,100				
前期繰越正味財産額	52,260,132				
次期繰越正味財産額	48,877,032				

第3号議案「役員を選任に関する事項」

1. 理事退任に関する事項

理事 吉田治典君

以上、1名

理由 本人からの申入れによる

2. 理事の新任に関する事項

理事 奥宮正哉君

以上、1名

理由 理事会からの推薦による

奥宮正哉君の略歴

1955 年生

現職 名古屋産業科学研究所 上席研究員

経歴 1983 名古屋大学助手

1995 名古屋大学助教授

2003 名古屋大学教授

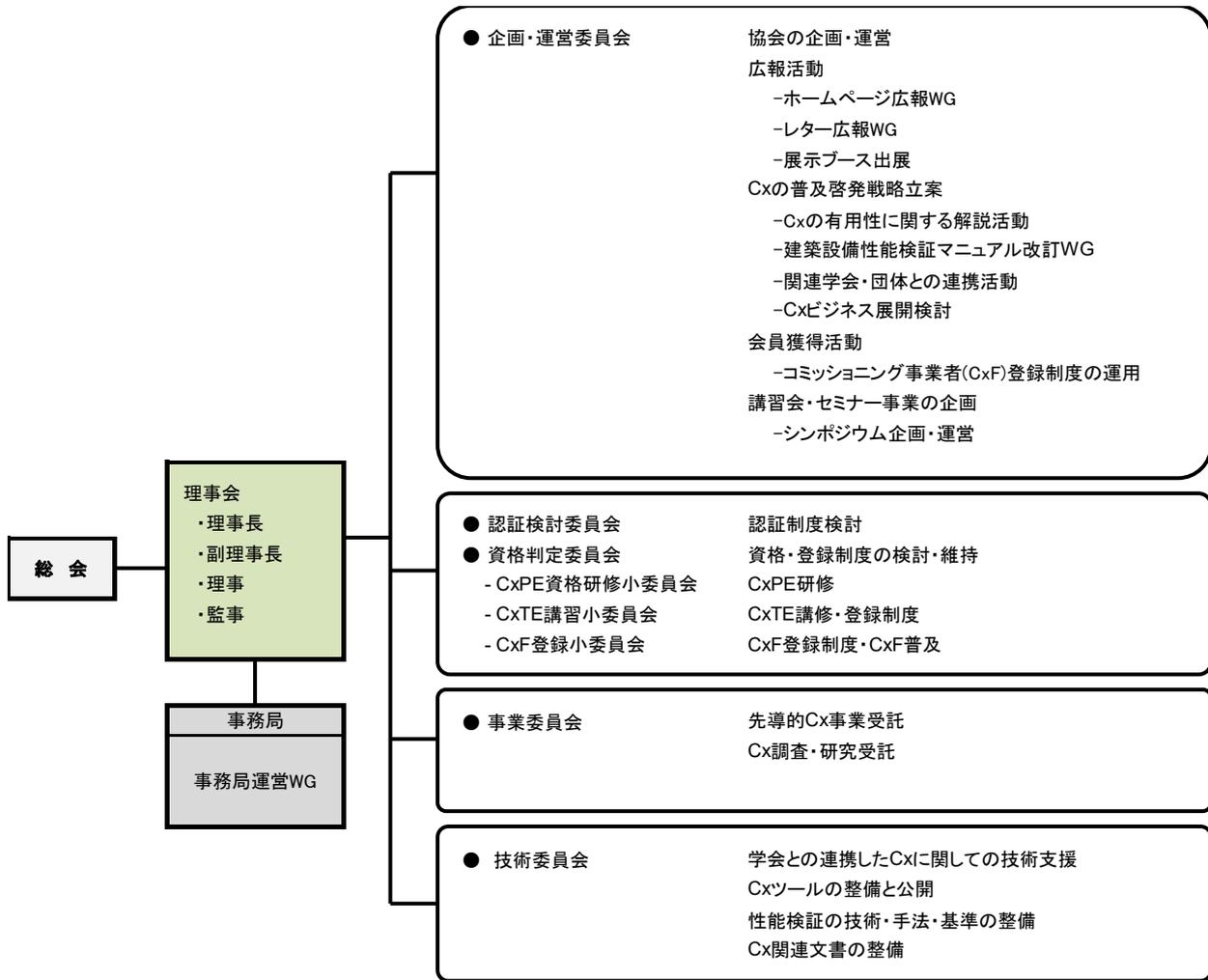
2020 定年退職・名古屋大学名誉教授

【3】報告事項

特になし。

参考

[組織図]



BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>